

子どもフェスティバル開催

「第6回合志市子どもフェスティバル」が2月26日、ヴィーブルで開催され、約1,800人の子どもたちが、科学実験やおばけ屋敷、スポーツなどの体験コーナーや子ども劇団公演を楽しみました。

子どもフェスティバルは、市内の小中学生から募集した実行委員が、内容や実施方法などを考え、準備から当日の運営まで大人の協力を得て開催するイベントです。「楽しかった また来たい」との声が多く聞かれました。



▲サイエンスワールドで楽しむ子どもたち

ヴィーブル子ども劇団公演を開催

ヴィーブル子ども劇団が2月25日、26日、「ハローマイフレンド」公演を行ないました。歌あり、ダンスあり、元気いっぱいの演技で、日頃の稽古の成果を発揮していました。

今回は特別ゲストに声優の田中真弓さんを招き、声の出演をしていただきました。迫力のある声にお客さんはもちろん、演技する子どもたちも劇の世界に引き込まれました。

市ホームページの合志市チャンネルで動画配信しています。



▲フィナーレでは田中さんもダンスに参加しました。
(下段右から4人目)

第37回全日本バトントワリング選手権九州大会 入賞表彰

文徳高等学校2年

本田 捺実さん(群)

●所属団体 フレンズバトンスタジオ

●とき 2月4日、5日

●ところ 熊本県立総合体育館

●成績 種目 ソロトワール 9位

種目 トゥーバトン 7位



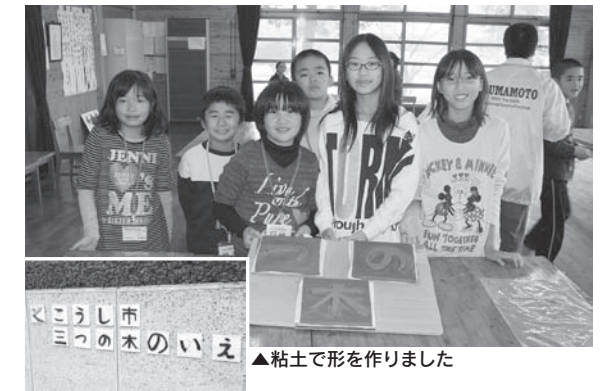
▲入賞した本田さん(左)と監督の古庄幸代さん(右)

三つの木の家の新しい看板ができました

昨年12月、三つの木の家で開催された宿泊自然体験研修で、陶製の手作りの三つの木の家の看板を作りました。

研修には、市内の小学校4年生～6年生22人が参加し、三つの木の家から学校に通いながら、工作活動や屋外炊飯を行ない、普段できない体験を楽しんでいました。

近くを通る際は、子どもたちの想いがこもった看板をぜひご覧ください。



▲粘土で形を作りました

～「健康」をテーマに連携～ 熊本保健科学大学と包括協定

熊本保健科学大学(小野友道学長)と市は、2月27日、地域社会発展のための包括協定を締結し、特に「健康」をテーマとしたまちづくりにおいて連携することとなりました。

市民の皆さんの健康づくり推進や保健・医療・福祉の向上に関する調査・研究などの分野で、相互の強みを生かしながら、積極的に協力体制を築いていきます。



▲市長(左)と小野学長(右)

春の風物詩 竹迫初市

竹迫地区に約250年前から伝わる春の伝統行事「竹迫初市」が2月26日、合志庁舎前の駐車場で開催されました。

伝統の市飴・名物うどんの販売や、竹製品の販売など多くの店が並びました。

また、オカリナ演奏やバナナのたたき売り、ひょっとこ踊りなどが披露され、肌寒い天気でしたが、会場は多くの来場者でにぎわっていました。



▲抽選会で盛り上がる初市会場

コルク製の積み木を寄贈

合志市障害者親の会「虹の会」(西村亜圭未代表)から、2月15日、コルク製の積み木の寄贈がありました。

これは、同会発足20周年の感謝を込めて、市長が会長を務める市社会福祉協議会に2セットを寄贈したものです。このコルク製の積み木は、「子どもたちに、より安全に想像力を育てほしい。」という願いが込められています。

コルク製の安全な積み木です▶



▲虹の会の皆さん

新規就農奨励金交付式を行ないました

新規就農者への激励を含んだ就農奨励金交付式が、2月15日、行なわれました。

式では、新規就農者の4人がこれからの合志市の農業を担うにあたっての抱負や決意を語り、その後、市長を始め来賓の人から激励の言葉が贈られました。

新規就農者の皆さんには、やりがいのある農業経営を目指してほしいと市から就農奨励金が、JA合志中央支所、西合志中央支所からは記念品が贈られました。



▲写真左から 月野陽さん(北)、松野佑哉さん(群)、市長、高本隼也さん(中尾)、安孫子稔さん(群)